

Via Latina 22



総本部よりのお知らせ - マリア会

2016年4月
250号



マリア会総本部よりの月次会報、
VIA LATINA 22 の250回発行記念を祝って！

メリバ管区での新たな任命

Thomas Cleary士とGarrett Long 師は、2016年6月1日に、それぞれメリバ管区の管区長と副管区長の任務を終えます。先頃、総長は総長評議員会の同意を得て、Timothy Driscoll士を管区長にThomas Cardone師を副管区長に任命しました。

私たちは、これら4名の修道者たちがそれぞれマリア会におけるリーダーシップの勤めを快く受け入れたこと、およびこの責任を果たしてきたことに感謝し、彼らのための祈りを約束します。



Thomas Cardone 師と Timothy Driscoll 士



スペイン新副管区長

総長Manuel Cortés師は、管区のマリア会員の意見聴取を経てから、総長評議員会と共にMiguel Ángel Dieste Pontaque 士をスペイン管区の新しい副管区長に任命しました。彼はその最初の任期5年間の勤めを2016年9月12日に始めます。

私たちはMiguel Ángel士がこの任務を受け入れた事に感謝するとともに、彼のために祈り、私たちの温かい協力を約束しましょう。

私たちはまた、Rogelio Núñez士が副管区長としてこの10年間果たしてきた貴重な奉仕に感謝します。先ず彼は旧マドリード管区で5年間、そして最近統合されたスペイン管区(以前のマドリードとサラゴサ両管区)で5年間、副管区長としての任務を果たしました。

クラブにてワールドユースデー (WYD) にむけて

3月11日～13日、春休みの間、ローマのサンタマリア校の廊下はドイツ、スペイン、フランス、ポーランドそしてイタリアから来た12名の若者たちの足音と会話が鳴り響いていました。また4名のマリア



会員も、クラブのWYDに参加するヨーロッパのマリアニスト若者代表団の集いの準備を仕上げる仕事で若者たちと協力するために出席していました。この仕事は今、終了し、これらの国々にオーストリアとアルバニアからの参加者を加えた総勢200名の到着を待つばかりです。準備のために既に3回集まったこのチームはまた、週末を利用したローマの小観光から見聞を広め、Via Latina 22を訪問して日曜日のミサに与りました。

コルテス総長と数名のマリア会員とともに、総本部の小聖堂に集まったマリアニストWYDの計画担当者の若者たち

ヨーロッパからの200名のマリアニスト参加者のためのポーランド滞在は、7月20日にワルシャワの郊

外のピアストップで始まりますが、ここには私たちのマリアニスト共同体が在ります。このグループは、5日間、その地の信徒マリアニスト共同体(MLC/CLM)と私たちの修道院がある小教区のメンバーの家族によってお世話を受けます。これは正にお互いにとって大変実り多い体験となることでしょう。それから、彼らは世界各地から来る若者たちと5日間を過ごし、また、教皇様と謁見するために、クラブに出発することになります。また彼らは、ニューヨークのメリバ管区から到着する100名あまりの参加者との出会いも希望しています。

ヨーロッパのマリアニストグループのために、必要な時にはスペイン管区のRogelio Núñez副管区長の指導に沿ってすべてのことを組織しているのは、若者自身です。彼らは他の若者たちへの福音宣教の奉仕において自分たちの責任を果たしており、またヨーロッパ大陸の中心部でその協同的な絆を強めています。これは、最近のマリア会総会 (No 27) で勧められ、なおかつ多くの人々の強い望みでもある“若者マリアニストの国際ネットワーク”の創設の一段階です；これは福者シャミナード師自身の遺産とよく適合するものではないでしょうか？自分たちの勉学の強いプレッシャーにも拘らず、この呼びかけに快く応えてくれているこれらの若者たちに感謝します。彼らの成功を心から期待し、そのために彼らと一緒に祈りましょう。

総本部財務局から、、、、

生きた水と生命の水

*Vidi aquam egredientem de templo,
a latere dextro, alleluia:
et omnes, ad quos pervenit aqua ista,
salvi facti sunt, et dicent, alleluia, alleluia.*

私は神殿右側から水が流れるのを見ました。
アレルヤ。そしてこの水の流れの方向に在る全ての
人たちは救われ、アレルヤ、アレルヤと言えます。

“水無くして生命は在りえません。生き延びるためには食糧にもまして水が私たちには必要なのです。それゆえ水へのアクセスは人類の基本的権利なのです。不幸にして663百万人の人々が飲料水へのアクセスを持っていません。世界の人口の約30%が基本的な衛生サービスに欠けています。汚染された水と衛生が悪いことが数々の病気の原因となっています。海も同様で、プラスチック材料や工場や農業から排出する有害ゴミによって汚染され、それらは魚の生存に害となりサンゴ礁や海のエコシステムを破壊しています。今では既に世界の多くの地域で気候変動による降雨量の減少、地下水の降下、そして飲料水の不足が認められています。”(Vidimus Dominum USG and SDIG/USIGのウェブサイトより)

正義、平和そして創造の統合の分野における課題への祈りを込めた注目の一環として、私たちは**持続可能な責任ある水の使用**についての問題を提起します。この問題は世界に広がるマリアニスト共同体全体のこれから数ヶ月間の私たちの焦点となります。私たちのwebsiteであるwww.marianist.orgで、私たちはこの話題についての皆さんの考察や話し合いのための材料を提供するつもりです。マリア会の共同体はこの課題について考察し、この課題のために祈り、そして共同体の集会でこれを取り扱うよう勧められています。私たちは皆、毎日水を必要としそれを使っているのです、これは私たち全員に関わる議題です。

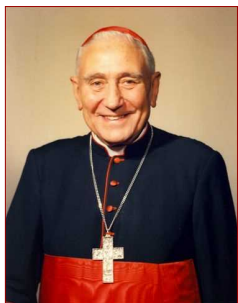


“水の供給が低下することからくる争いは、おそらく将来の大きな紛争の原因となるでしょう。持続可能な開発目標 (SDGs) を達成するには、すべての水資源の保全と公平で効果的な管理が必要となります。SDGは何を求めているのでしょうか？SDGsは全ての人々が衛生的な飲料水を得ることが出来、適切な衛生設備を持てることを要望しています。

この目標達成のために提唱される手段は次の通りです。

- ❖ 化学的汚染の縮小: 使用済水の処理を改善すること、水の再利用と再活用
- ❖ 山、森、湿地帯、河川、水郷地帯、湖水等、水に係るエコシステムの保護と復元
- ❖ 海と海岸のエコシステムを持続可能性をもって管理し、保護し、復元すること
- ❖ 海洋酸性化の影響を最小化し、これと取り組むこと: 漁獲高の規制と過剰漁獲を終わらせること、不法漁獲、無届け漁、無規制漁、および破壊的な操業” (Vidimus Dominum参照)

次の数ヶ月にわたって、私たちは他のメッセージを追加します。またこのWebsiteについての皆さんからのコメントをお待ちします。

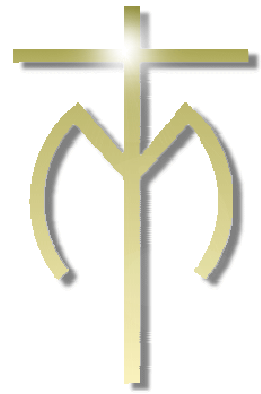


エドゥアルド・ピロニオ (EDUARDO PIRONIO) 枢機卿の列福調査

3月11日金曜日、ローマの教区事務所において、エドゥアルド・ピロニオ枢機卿の列福調査の終結会議が行われました。エドゥアルド・ピロニオ枢機卿はマリアニストの偉大な友人でした。1983年、彼が修道会・在俗会聖省長官の時、彼の調停は私たちの「生活の規則」の認可によって決定的な役割を果たしました。彼自身が個人的に作成した聖省令の中で、彼は次のように書いています。

“聖母マリアへの愛に深く根ざしたマリアニスト・カリスマへの忠誠心が、マリア会員を導き、教会がマリア会に託した任務を創立者の精神を持って、また惜しみない心で実現しますように。教会がマリア会に託した任務とは、多くの兄弟姉妹をマリアの御子への信仰において養成するというマリアの使命を助けることであります。” (聖省令 1983年6月29日) マニフィカト！この良い知らせについて神に感謝しましょう。またピロニオ枢機卿の列福調査のために祈りましょう。

総本部からのニュース要約



- ◆ 3月11日から13日まで、霊生局長、André Fétis師とコロンビア・エクアドル地区の地区長Rodrigo Betancur師が、ローマVia Latina 22の二つの共同体の一つであるシャミナード国際神学校を一緒に公式訪問しました。
- ◆ この神学校訪問は拡大総長評議員会に先立って成されましたが、拡大総長評議員会は同じくVia Latinaにて3月15日から17日に開催されました。総長評議員会恒例メンバーに加え日本地区、地区長青木勲師、コロンビア・エクアドル地区、地区長Rodrigo Betancur師、アメリカ管区、管区長Martin Solma師、トーゴ地区長Ignace Pagnan師、そしてフランス副管区長Jean-Marie Leclerc士が出席しました。
- ◆ 3月17日から19日まで、もう一つの会議、財政評議会がVia Latinaにて開かれました。出席者は次のとおり:本部財務局長Michael McAward士、東アフリカ地区財務補佐Chola Mulenga士、アメリカ管区財務補佐Ronald Overman士、そしてスペイン管区管理部Luis Paz氏。
- ◆ 3月22日から28日まで、チリ新地区長José Pascual士がVia Latinaを訪れました。
- ◆ 4月4日、総本部共同体メンバーと神学生は、ローマの「マリアの御名」マリアニスト小教区で、マリアニスト家族の守護の祝日である「聖母のお告げの祝日」を祝いました。

メールアドレスの変更

- Bro. Eugene Frank (US):
eugene.frank@aol.com
- Bro. John Paul L. (US-India):
smpaulraj@yahoo.com
- Bro. Thomas Spring (US):
kamakiboing@gmail.com
- Fr. Jean-Pierre Eddy (FR):
pierrejeddy@yahoo.fr

総本部 最近の通信

- 訃報 #7

総本部日程

- 4月6～26日: 総本部の東アフリカ地区訪問

